

声をあげよう！ 仲間を広げよう！ 人間らしく働く権利の確立をめざして！

パート・非常勤部会ニュース No.8

大阪市北区錦町2-2 国会会館1F 大阪労連パート・非常勤部会 2007・5・31

パートタイム労働法が与党のみの賛成で可決、成立

パート労働法は5月25日、参議院本会議において自民・公明の賛成多数で可決、成立しました。日本共産党、民主党、社民党、国民新党は反対しました。参議院では8つの附帯決議がついています。今後、参議院選挙後に労働政策審議会雇用均等分科会で指針、政令が議論され、来年4月1日に施行となります。また、施行3年後に見直しが見直しがされます。有効な見直しを行っていくよう、すべてのパート差別の禁止、均等待遇運動を更にすすめてゆきましょう！

—— 第15回パート・臨時で働く仲間の全国交流集会を神戸で開催。2日間で延べ644人！ ——

交流し、学びあい、もうあと一歩運動の前進が見えた

5月26日～27日(土～日)神戸の勤労会館で第15回パート・臨時で働く仲間の全国交流集会が開催されました。1日目(全体集会)は396人、2日目(分科会)は248人が参加、延べ644人が参加しました。大阪労連からの参加は55名でした。当日、神戸新聞は一面トップでこの全国交流集会の開催を掲載、翌日も集会について報道しました。兵庫の労働局からもメッセージが届きました。全労連のパ・臨連絡会、布間代表は「差別禁止を一部に限定したパート労働法を乗り越え、真の均等待遇をめざそう」と挨拶。続いて、全労連の坂内議長は「5月20日の青年集会には、3,300名が参加。最賃交流のテントは黒山の人だかり。『せめて時間給を1000円に』が世論になっている。『参加して良かった』と思える集会に」とスピーチ。兵庫労連の津川議長は「兵庫の自慢は牛肉と非核神戸方式。神戸市議会が1975年に全会一致で入港船舶に非核証明書を義務付けた。それ以来アメリカ艦船は一度も入港していない。今、この非核神戸方式が激しい攻撃を受けている。平和の美海(みみ)ちゃんのモニュメントを作った」と挨拶しました。昨年11月にパート連絡会を結成した静岡に、パ・臨連絡会の旗が贈呈されました。



全国の仲間の取り組みのDVD上映後、パネルディスカッション

パネリストは中田進さん（関西勤労協講師）、北野紀子さん（兵庫パ・臨連）、橋本のり子さん（生協労連）、河添誠さん（首都圏青年ユニオン）で、コーディネーターは井筒百子さん（パ・臨連事務局長）でした。北野さんは「人口1000人当たりの公務員数はフランス96人、アメリカ80人、ドイツ58人、日本35人。日本の公務員は少ないのに、採用は抑制され、非正規が増大している。総務省が初めて自治体非正規労働者の数を集計した。その結果、非正規は45万6000人。公務非正規は10年、20年働いても賃金が変わらず、民間に比べても低賃金、雇い止めの不安、育児・介護休業法の適用もない」と告発。ご自身が川西市長選挙に立候補した経緯を語りながら「非正規だからとあきらめていませんか。行動に移していくことが大切」と語りました。河添さんは「組合お任せではなく、当事者意識をもってもらうことが大切。青年ユニオンは最低限の労働条件を守らせる、座ってもぬれないブルーシート」「若者にとって組合は本当に役に立つのなら入ると思う」と語りました。



————— 会場からも大阪北摂地区協の吉岡力さんら4名が発言しました —————

東京パートネットの霜村さん 「東京都は日給を30円アップした。東京都は、昨年より会社に対して1050件指導を増やしたと回答した」

西宮臨時保育士労組の石田さん 「臨時保育士として国家資格を持って働いて10年。賃金は今年入ってきた人と同じ。仕事の量が増えて割にあわない。妊娠したら辞めないといけない」

1日目終了後、三ノ宮の商店街をパレードしました。2日目は6分科会で討論。

